

フォーラムNo. Y10

テーマ名 Cars that think and communicate I -セルフ・ドライビング・カーに向かって-

日時 2016年5月27日(金) 9:30~12:30

会場 会議センター メインホール

概要

近年、自律・自動運転技術は急速に発展し、実用化に向けた開発が積極的に行われ、市販化の取り組みも始まっている。このような自動車技術の革新は、自律・自動運転(走行)に関わる技術だけでなく、人と車に関わる車載機器・車両制御技術や車が周囲と通信する機器などに大きな進化をもたらし、自動車技術のあり方に大きく影響する。本フォーラムでは、昨年同様に、エレクトロニクス、ITS、マルチメディア3部門委員会合同で、安全で信頼できる自律・自動運転の実現に必要な、車が自ら考え、運転者や周囲と協調する技術について議論し、近未来技術やその可能性を紹介し、将来の方向性について考える。
特にIではシステムやその可能性について議論する。

企画委員会 エレクトロニクス部門委員会、ITS部門委員会、マルチメディア部門委員会

プログラム

開始時間	終了時間	司会/挨拶/ 講演者/パネリ スト等	演題	氏名	勤務先名
		司会		中村 哲也	株式会社デンソー
9:30	9:40	挨拶	Cars that think and communicateの開催にあたって	福田 敏男	名城大学
9:40	10:10	講演者	SIP自動走行システム -その開発の進捗と課題への取り組み-	葛巻 清吾	内閣府
10:10	10:45	講演者	協調型ITSの取組と今後の展望	木村 浩章	トヨタ自動車株式会社
10:45	10:55	休憩			
10:55	11:30	講演者	クルマの智能化と交通社会の将来	佐藤 学	日産自動車株式会社
11:30	12:00	講演者	安全運転支援から自動運転へ	杉本 洋一	株式会社本田技術研究所
12:00	12:30	講演者	マツダの目指す自動車の未来像 -全ての人に「走る喜び」を永遠に提供し続けるクルマ作りと目指す社会-	栃岡 孝宏	マツダ株式会社